



山村振興のキーポイント

生業（碁石茶）の復活による山村地域の活性化

【碁石茶生産組合から学ぶ】



地域資源の価値と活用性の発掘

存在するだけならば“地域資源”ではない。価値を検討し、活用性を発掘することが大切

大豊町では、江戸期以来、独特の製法で守り受け継がれてきた後発酵茶のブランド力に着目して、地場産品としての価値検討のために広く効能・効果分析を行った。この効能・効果分析の結果が、価値の創出と地域活性化に向けた活用性の発掘につながった。

多様な主体との連携

大学や行政の研究機関等の多様な主体をまきこむ

農作物が潜在的にもっている効能・効果などを地域だけで分析することは難しい。その際に、大学や自治体の研究機関と連携して行うことも大切である。大豊町では、地域の知の拠点である高知大学、県の工業試験所と協力・連携をして、性能等の分析、生産性向上の検討、そして碁石茶の地域ブランドへの確立に至った。

1.5 次産業化による雇用の確保

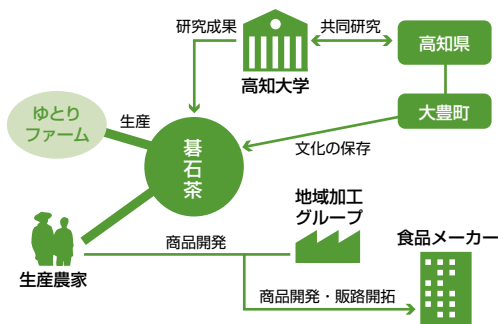
雇用を伴う地域活性化へつなげるために、高付加価値化を図る

雇用情勢が極めて悪い高知県にあっては、雇用を確保することが最大の課題である。そのためには、一次産品（生産物）のままで収益を上げるのではなく、加工・製造、販売につなげていくことが必要であった。大豊町では、雇用創出につなげるために、碁石茶の加工工程を地場で行うため（1.5次産業化）簡易な工場を建設した。



活用した組織と制度

研究機関との連携による地域食材の高付加価値化



活用した補助制度など

- 平成19年度都市再生モデルプロジェクト推進調査（都市再生モデル）
- 平成20年度高知県中山間地域産業再生モデル事業（高知県）

その人に聞く

父の意思を継ぎ 伝統を守ってきた！

「わしらは父のいうた製法を崩さず伝統を守って、やっていだけ。わしの子どもも普段は会社勤めだけど、茶づくりの時期には一緒にやるので、だいぶつくり方を覚えてたけんね。」

大豊町碁石茶生産組合会長 小笠原章富 氏

「気づいたら生産量よりも予約のほうが大分多くなっていて、電話もひっきりなしに鳴るし、対応に苦労しました。それでもいいからと皆さん待ってくれて、碁石茶のおかげでこちらも飯を食べる暇がなくてやせました。」

大豊町職員

その人に聞く

“地産地消地検”で 地域食材の価値を検証！

高知大学国際・地域連携センター長 受田浩之 氏

高知県のように、人的な資源や企業の絶対数が少ない地域では、大学や自治体、メーカーなどの機関・企業が連携しながら足りない部分を補完しあうことが必要になります。

健康という観点から考える

と、医学部や医療従事者の関与も重要になってきます。高知県では、医農連携の一環として、地域食材の健康増進効果を検証する作業を行っています。地産地消に「地域で検証する」という意味を込めて、“地産地消地検”と表現していますが、このように地域の産官学が連携し、一体となった取組が5,500kgの碁石茶の製造に至ったと考えています。



高知県大豊町

課題1 山村地域の農林業再生



今後の課題・展望

新たな段階へのステップアップを目指して

目標1

地域農産物の付加価値や 「ゆとりファーム」 の多角的経営

中山間地域で安心して住み続けることができる地域を実現するため、「ゆとりファーム」を中心として多角的に展開する拠点型ビジネスの仕組みづくりを図り、碁石茶や柚子の生産体制、新たな地域資源商品の開発、新規就農者への支援システムの構築などに取り組む。

目標2

生業の維持を担う 中核的人材の誘致・育成

現在常勤2名の職員によって運営され、事業の企画から農作業まで実施している状況にあり、事業拡大や農業生産量増加に取り組むために、地域内外からの労働力の確保と、中核的な人材の誘致や育成を図っていくことが求められる。

関連・関係する団体

高知県工業技術センター 〒781-5101 高知県高知市布師田3992-3 Tel: 088-846-1111

高知大学国際・地域連携センター 〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2-17-47 Tel: 088-844-8555